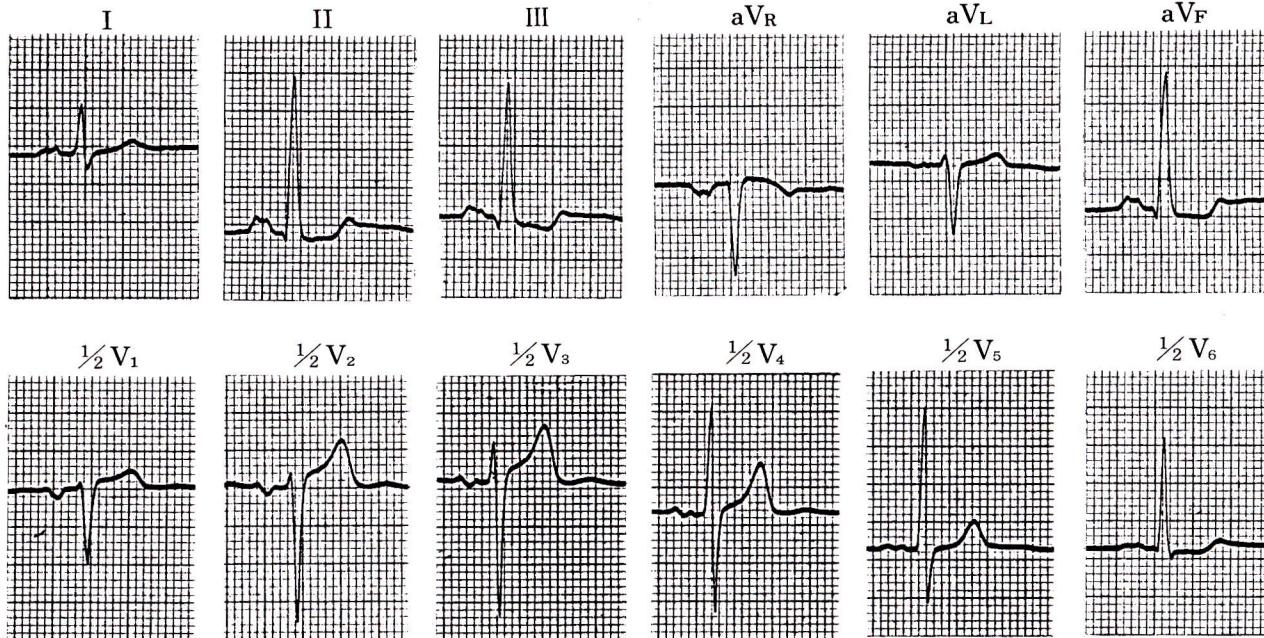


# 症例 12

●48歳 男

- 大動脈弁狭窄兼閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症の患者。



1) I, II,  $V_1$  の P 波をどう考えるか。

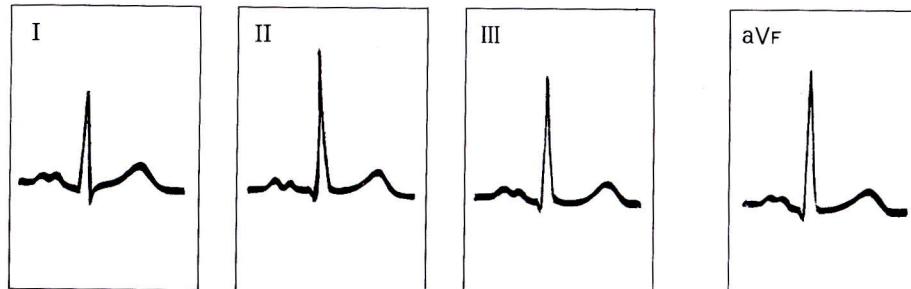
## 僧帽性P波，左心性P波，左室肥大，非特異的心筋傷害

I, IIで幅広く結節があるP波（僧帽性P波），V<sub>1</sub>で幅広く，深い陰性部分を有するP波（左心性P波）。V<sub>5</sub>のR波36mm，V<sub>6</sub>のR波28mm，RV<sub>5</sub>+SV<sub>1</sub>は56mm，RV<sub>6</sub>+SV<sub>1</sub>は48mm，左室肥大で

ある。II, III, aVF, V<sub>6</sub>に水平～下向型のST低下(0.5～1.5mm)と2相性T波，左室肥大はあるが非特異的心筋傷害と考えてよい。

## MEMO

## &lt;僧帽性P波の典型的パターン&gt;



I, IIで幅広く(0.12秒以上)，2峰性のP波